



熊本洋学校で教師ジェーンズの薫陶を受け、

花岡山でキリスト教を奉じ

この教えを日本全国に宣布しようと誓約した

「熊本バンド」の青年たち。

熊本バンド 139周年記念

日本におけるキリスト教プロテスタントの

源流の一つとなった「熊本バンド」の

結盟139周年を記念して、

早天祈祷会を開催します。

早天祈祷会

2015年1月30日(金) 6:30~7:30

天候にかかわらず開催

場所/花岡山山頂

熊本バンド奉教之碑前

*駐車場有

*終了後にあたたかい豚汁があります。

www.kumamoto-ymca.or.jp/portal/11870.html

熊本YMCA

検索



■奨励

「祈りは呼吸」

長岡 立一郎 氏 (九州学院専任理事)



1946年11月17日熊本で生まれる。九州学院高等学校卒、日本ルーテル神学大学卒、日本ルーテル神学校卒。1972年2月按手を受ける。日本福音ルーテル八代教会、広島・呉教会、ドイツ牧師研修所短期留学、京都教会副牧師・大津ルーテル病院チャプレン、久留米教会、東京・本郷教会、博多教会を歴任。2009年7月より学校法人・九州学院専任理事長に就任して現在に至る。

◎どなたでもご参加いただけます。

熊本バンド139周年記念行事実行委員会事務局(熊本YMCA) TEL096-353-6397 担当/古閑

(実行委員会) 難波 信義 (実行委員長/熊本草葉町教会)

本堀 秀一(希望ヶ丘初外教会) 黄 大衛(九州ルーテル学院大学) 木下 智夫(同志社校友会熊本県支部) 堂原 崇史(熊本大学YMCA花陵会)
小副川 幸孝(九州学院高校) 崔 大凡(ルーテル学院中学・高校) 宮下 和義(同志社校友会熊本県支部) 十川 翔太(熊本大学YMCA花陵会)
西本 徹(熊本大学YMCA花陵会) 古閑 智憲(熊本YMCA)

順不同

前の週の1/24(土)に、熊本バンドゆかりの地である花岡山の清掃活動が行われます。併せてご参加ください。

KUMAMOTO BAND

KUMAMOTO BAND

*熊本バンドとは…

1876年1月、熊本洋学校の学生有志は、キリスト教によって人心の改革をはかろうと熊本の花岡山に登り、キリスト教信仰の誓約書を交わすが、このことが知れわたり、誓約に参加した青年たちは家族からも迫害を受け、洋学校は廃校に。青年たちはジェーンズの依頼で開校直後の同志社にあずけられることになった。1879年に同志社を卒業した第1期生15人は、全員が熊本バンドであった。新島を手こずらせた奔放不羈な彼ら熊本バンドではあったが、しかし一方で、徳富蘇峰、金森通倫らを中心に、新島の同志社大学設立運動を助け、同志社の自由な校風をつくっていく。歴代総長（当時は社長）を見ても、小崎弘道(第2代)、横井時雄(第3代)、下村孝太郎(第6代)、原田助(第7代)、海老名弾正(第8代)と、昭和に至るまでこの熊本バンドの出身、またはゆかりの英傑たちが名を連ねる。

(同志社大学ホームページより)

奉教趣意書 (口語訳)

我々が、キリスト教を学んだところ、大変教えられるところがあった。以後、これを学べば学ぶほど喜びが得られる。そこで、このキリスト教を日本の国中に伝道し、文明を知り文化を得てほしいと考えるに到った。

しかしながら、キリスト教の深い真理を知らずして、古い伝統と習慣にしばられている人々が少なくない。我ら新しい真理を知った者として、この真理を知らない人々の現状を見るに、いたたまれないもどかしさを感じる。この際、我ら、新しい大きな使命をになう青年は、一大決心をし生命がけでキリスト教が公明正大な宗教であることを、明確にしてゆかねばならない。この決意の実行に、我々はもっとも力を尽くすつもりである。

そこで志を同じくするものが、花岡山に登り、一致協力してキリスト教の信仰を守ってゆくために、次の約束をする次第である。

- 一、キリスト教を信じる者は、お互いに兄弟としての交わりをもち、生活全般にわたって、互いに戒めあい忠告しあいながら、良い行いを実行しなければならない。
- 一、いったん、キリスト教の信仰を持ちながら、信仰にふさわしい生活ができない者は、神をあざむくことになる。また、自分自身の心をもあざむくことになる。こうした者は、必ずや神の罰を受けることを知らなければならない。
- 一、今日、我が国の多くは、キリスト教を拒否している。それ故に我らの内、たとえ一人でもキリスト教をすてる者は、世間の物笑いになるだけでなく、我らのせっかくの決意をもふみにじり、実行不可能にしてしまう。ともども、努力しようではないか。

1876年1月30日 日曜日 記す